

発 言 通 告 書

令和 7 年 12 月 1 日

松山市議会議員 原 俊 司 殿

松山市議会議員 太 田 幸 伸

次のとおり通告します。

発言順位	20	受領日時	12 月 1 日 午前・午後	1 時 30 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式			発言時間	約 40 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者				

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	地域防災力の強化について	(1)避難所ごとのマニュアルの策定状況について問う。 (2)各自主防災組織の訓練の実施状況と訓練内容について問う。 (3)本市の住宅の耐震化率とさらなる耐震化率の向上への取組を問う。 (4)家具等の転倒防止対策の実施状況について問う。 (5)家具等の転倒防止対策の実施状況調査をしてはどうかと考えるが所見を問う。
2	本市の火災への対応について	(1)本市の火災の発生状況と出火原因について問う。 (2)火災による被災者への支援について問う。 (3)消防団員の年代別の人数と新たな若い人材確保の取組について問う。 (4)マスター消防団の人数と活動状況について問う。 (5)消火栓が使えないときの消防水利について問う。
3	本市の不登校支援について	(1)本市の不登校児童・生徒の人数と理由について問う。 (2)こども相談に寄せられた不登校に関する相談の状況について問う。 (3)教育支援センター事務所やフリースクール等の学校外施設の利用状況について問う。 (4)学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)を開設すべきと考えるが所見を問う。
4	交通弱者対策について	(1)バス路線撤退地域のデマンド型の代替交通(予約制乗合タクシー)の昨年度の利用状況について問う。 (2)バス路線撤退地域へのチョイスコの導入について所見を問う。

